



発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第356号

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

神の光のうちに歩きましょう マヘル神父

2017年に入りました。皆様もお仕事が始まり忙しくなられたでしょう。この新しい一年の間にクリスチャンの使命「神の愛を知らせる」ことを再び認識し進めていきましょう。

良いことは、常に広がっていくものです。真理や美に関するすべての真正な体験は、おのずから広がり求め、深い解放を体験した人は誰でも、他者の必要に対して敏感になります。伝えることによって、善は根つき発展します。従って尊厳ある充実した生を送るには、他者を認め、他者の善を求めることの他に、道はありません。聖パウロが次のように語っているのも不思議ではありません。「キリストの愛が、私達を駆り立てている」(2コリ5・14)「福音を告げ知らせないなら、私は不幸なのです」(1コリ9・16)

世界代表司教者会議(シノドス)の提言は、高いレベルの、しかし熱意を備えた生き方を紹介します。「命は与えることで強められ、孤立と安逸によって衰えます。事実、命を最も生かす人は、岸の安全を離れ、他者に命を伝えるという使命に情熱を注ぐ人です。」

教会の福音宣教への招きは、キリスト者にとって、自己実現の真の活力を示されることに他ならないのです。「ここにわたしたちは、人間の在り方についてもう一つの深い法則を見出します。つまり、他者に命を与える時に

こそ、命は成長し、成熟します。詰まる所、それが福音宣教です。」従って、福音を宣教する者は常に、弔いの時のような顔をしてはなりません。熱意を取り戻し、さらに増していきます。「たとえ涙のうちに種を蒔かなければならないときでも、甘美と慰めに満ちた福音宣教の喜びを保ちましょう。・・・現代世界は、時には苦悩のうちに、時には希望の内に良き知らせを求めていきます。願わくは、現代の人々が、悲しみに沈んだ元気がない福音宣教者、忍耐を欠き不安に駆られている福音宣教者からではなく、すでにキリストの喜びを受けとり、その熱意のよって生活が赤々と輝いている福音宣教者・・・から福音を受け取りますように」

この使命は私達に惜しむことなく関わることを求めます。しかし、これを英雄的で個人的な課題であると思ってはなりません。何故ならそれは私達が発見し、理解しうる以上に、何よりもまず、主の業だからです。イエスは「最初にして最大の宣教者」です。どの

小田神学生よりのご挨拶・・・	2・3面
公現について・・・	3面
小教区委員会報告・・・	4・5面
来住神父黙想会・・・	5・6面
リース点灯の朗読・・・	7

ような形の福音宣教であっても、主導権はいつも神に属します。神はご自分と共に働くよう私達を招き、聖霊の力によって私達を駆り立てます。真の新鮮さは神ご自身が神秘的に生み、息を吹き込み、引き起こし、方向づけ、様々な形で歩みを共にして下さるものです。教会生活全体において、主導権はいつも神にあることを示さなければなりません。「神はまず私達を愛し」(ヨハネ4・19)「成長させてくださる」(1コリ3・7)からです。この

確信を持っていればこそ、私達は、自分達の生活すべてにわたる努力と挑戦が求められる、この務めの最中であっても、喜びを保つことが出来るのです。この使命は、私達にすべてを要求しますが、同時に全てを与えてくれるのです。(福音の喜び・教皇フランシスコ9・10・12引用)

では、今年(2017年)、明るい共同体を目指して進みましょう。

水巻教会の皆さま、ほんとうに有り難うございました

小田神学生よりのご挨拶

水巻教会の皆さま、1年間、大変お世話になり、まことに有難うございました。あっという間に、1年の月日が経とうとしていて、驚くばかりです。人生初の九州生活もつかの間、司牧実習が始まり、期待と不安を胸に、水巻教会を訪れた日のことが懐かしく思い出されます。多少の緊張感を抱きながら、ミサが始まるまでお祈りしていると、聖堂のステンドグラスに明るい朝日が差し込んでるのが見え、何かほっとするような気持ちになり、この教会で1年間、どのような出会いがあるだろう、などと希望が湧き上がってくるのを感じていました。

そして1年が経とうとして、本当に沢山の方々と出会い、素晴らしい経験に恵まれました。日曜学校では、子供たち、リーダーさんたちと貴重な交わりを持つことができました。成人洗礼の私にとって日曜学校は未知の世界でしたが、次世代の子供たちへ、自分たちが頂いた信仰を伝えていこうとするリーダーさんたちの思いが伝わってきて、日曜学校というものが、少しずつ分かってきたよう

に思います。そして何よりリーダーさん同士、気心の知れた間柄で、互いに尊敬しあい、「ホーム」という雰囲気のみなぎってました。都会の大きな教会にはない、水巻教会の素晴らしさだと感じました。

一緒に侍者を務めてくれた野田君。体が大きくてたくましくて、最初はぎょっとしましたが、実はとても優しい、細やかな心づかいをする青年で、助けられることばかりでした。何より、十代のあれこれ忙しい時期に、毎週教会へ通い、侍者を務めるというのは、すごいことだなと改めて尊敬します。

そしてまた、日曜学校・ほほ皆勤賞の「山田蓮君」との出会いが、私には、大きく貴重な体験でした。素朴な子供らしさと、でも案外、周りの人たちの気持ちをよくくみ取っている蓮君の優しく、爽やかな性格が、本当にいいなあと思っていました。日曜学校では、リーダーたちの注目の的で、ときには息苦しいこともあったかも知れませんが、いつも大人たちの期待に応え、聖書のお勉強、お祈りの練習など頑張ってくれました。日曜学校の

後は、小さい子たちを見守りながら、またおじさんの神学生に気づかいながら遊んでくれて、本当に、周りの人のことを良く考える子なんだなあと、感動していました。これからは楽しみです。

最後に、マヘル神父様には改めて、言い尽せぬ感謝を申し上げたいと思います。できることのわずかな私に対して、常に温かく、優しい眼差しでみて下さり、本当に1年、のびのびと教会体験させて頂くことができました。そして1年間、神父様のお姿をみせていただき、常に神父様の宣教への情熱、人々にイエス様を知らせたいという思いが伝わり、

司祭として、宣教師として、目標となるものを頂きました。

ほかにも、ここにはとても書き尽くせないほど、多くの方々との出会い、貴重な経験がありました。その一つ一つが、今の自分を支える大きな糧となっております。また、これからの召命の歩みの中で、活かしていきたいと思っております。

まだまだ先の長い道のりですが、神様の呼びかけに従っていけるよう、引き続き、お祈りをよろしくお願い申し上げます。まことに、ありがとうございました。



再び、公現について

マタイ福音書に著される公現の物語、その中における占星術の学者たちとヘロデ大王の両者の登場は、あまりに意味深いストーリーと思われれます。

余計ですが、私は高校生時代、占星術に凝っていて、その時の星（惑星たち）の配置で偉大な人の誕生が知らされたことは想像できますし、一歩踏み込めば、新たな星が現れてイエスが誕生した場所を示してくれたことも、あり得るかもしれません。

肝心なことは、あと一歩で、学者たちはベツレヘムのイエスに辿りつけたかもしれないのに、なぜか、エルサレムに来てヘロデ大王に会い、「お生まれになったユダヤ人の王はどこにいますか？」と尋ねます。その面会と質問は、ヘロデ大王の幼子イエスを無き者にしようという恐ろしい行為にも結び付くのですが、同時に、イスラエルの都において、その時の権力者に向かって、「新たに偉大な王が生まれたはずです」と語った（=公言した）ことによって、主の「公現」がなされたとも考えられます。

一方、人物たちの性格としては、謙虚で純真無垢な占星術師と、嫉妬心・猜疑心の強いヘロデ大王の両者が対面したこと、しかも、これらはユダヤ人から見たら、異邦人とユダヤ人であることは驚くべきことです。占星術学者の心に裏はないが、ヘロデ大王は嫉妬心に燃えつつ、虚偽の発言を行っている訳です。なお、ヘロデ大王は、福音書どおり、この後ベツレヘム近隣の幼子たちを殺したほか、多数のユダヤの議員・役人たち、それに自分の子供たち（但し、イスラエルの地を継承しなかった者）までも殺しています。

（ 広報 三谷尚 ）

委員会等報告

2017年1月分

1 月度小教区委員会 1月15日

1. 行事予定

- ・ 2月5日(日)小教区委員会 10:50～
納骨堂 献金の取り扱いについて
13:00～14:00
ベルトラン神父様追悼ミサ 15:00
- ・ 2月11日(土) 福岡教区 福音と平和の
つどい 大名町教会 10:00～16:30
- ・ 2月18日(土)役員会 10:00～12:00
- ・ 2月26日(日)北九州信徒協 典礼部会研
修会 小倉教会 13:00～全信徒対象
なぜミサにあずかるのか(ミサの意義)
信徒の意識の希薄化 研修会后、典礼部
会
- ・ 3月1日(水) 灰の水曜日
- ・ 3月12日(日) 黙想会 講師:カトリッ
ク高松司教区 助祭 西川 康廣氏
- ・ 3月17日(金) 共同回心式
10:00～、19:30～
- ・ 4月16日(日) 復活祭

2. 議事

※2017年度予算について

- ・ 個々の内容説明と協議を行った。
- ・ 営繕費の増加が見込まれることから営繕
費予算を50万円に増額。その他費目
については、例年通りの規模とする。
- ・ 火災保険については地震保険を付けるか、
見積もりの上、更新時期に検討する。
- ・ 教会に来ていない方々への維持費支払の
お願い等、信徒への維持費協力を呼びか
ける。

・ 同居家族であっても就職し、経済的に自
立している子供の居る家庭は、維持費は
各々納める義務があることも周知していく。

その他お知らせ

● 小田神学生 お世話になりました。教会
学校や大人の日曜学校、その他教会行事に
積極的に協力いただきました。主の招きに
預かることができます様にお祈り致します。

● クリスマスパティーでの温かい豚汁の
野菜は芦屋地区の原田様から提供頂いたも
のです。ご協力ありがとうございました。

● 巡礼旅行 参加者募集開始!!

日程 5月3日～5月5日(2泊3日)

5月3日朝6時に水巻教会を出発
行先 上五島(宿泊先 有川ビーチホテル)
定員 29名 費用 28,000円/人
申込締切り 2月26日(日)

先月号で食事代別とお伝えしましたが、
食費もすべて込みで 28,000円の参加費
となっています。お詫びして訂正致します。
まだ定員に余裕がありますので、是非お申
込みください。

幼稚園との協働について

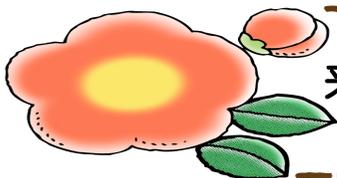
昨年12/25に「幼稚園との協働につ
いて考える。」をテーマに 宣教について語
り合う会が開催されました。これから教会
と幼稚園が共に発展していくためには、地
域に寄り添いながら、福音を伝えていくこ
とが重要との認識で一致しました。初めて

の試みであった教会と幼稚園の合同企画キヤンドルサービスも30名近い子供たちが集まり、楽しいひと時を過ごすことができました。これからも教会と幼稚園が1つになって活動し、社会へ働きかけていくことを考えていきたいと思えます。

ここで幼稚園から1つの提案がありました。今、女性の社会進出などの社会情勢の変化に伴い、未就園児の受け入れや夕方遅くまでの時間外保育が強く社会から求めら

れるようになってきています。この社会のニーズにこたえていく為に、幼稚園施設の充実を考えたいとのことでした。

福音を述べ伝えつつ、地域からも必要とされる水巻小教区を実現していくことが、まさに宣教につながると思えます。司祭館を幼稚園に使用いただく案が有力です。その為には司祭館の移設先やその費用の検討が必要です。実現に向けて検討を進め、成案を得次第、皆さんに諮りたいと思えます。



来住神父 待降節の黙想会

—見えるものとなられた神—

待降節において黙想会が実施され、宗像黙想の家の来住神父の講話がありました。そのメッセージは意外なもので、福音書を読むときには、「イエスが語ったことや、弟子たちがイエスに接しわが身を恥じた」ということよりも、福音を語ったイエスが、確かにガリラヤ湖畔で朝の新鮮な空気のもと2本の脚で歩いたこと、これらを想起しなさいということでした。

<来住神父様が配布された要約から (若干の省略と改定をお許し下さい) >

知らない誰か、まだ見ぬ誰か、を待っている人たちがいます。彼らへの共感福音宣教の基盤となります。宣教とは「イエス・キリストこそが、その方ではないですか」と告げることだからです。しかし、待降節のキリスト者は、「すでに知っている方」を待っています。その方が、今年、もう一度新たに來られるのを待っています。自分を「イエスをまだ知らない者」の様に言うのは、謙遜とは言えません。イエスを知る幸運を得たことを喜び、新たにこの方との関係を深めてゆきましょう。その方は「見えるものとなられた」神です。私達キリスト者は、神を見ることができのです。聴くことは、信従を呼び起こしますが、見ることは、愛と親しみを呼び起こされます。

21世紀に生きる私達は、どこにイエスを見るのか。何よりも、まず、福音書の中です。イエスが語られたことも大事ですが、イエスがどのように振る舞われたかも大事です。私達は、「見た方」の言葉を聴くのです。弟子たちばかり見ていると、すぐ反省モードに入ってしまう。具体的には、福音書の中の、イエスを主語とする「動詞」を丁寧に扱い、観想します。目立つ出来事だけではなく、日常のイエスも大事にしましょう。神が人となられた

ことは、まず、人間としての日常になるからです。福音書の中で、イエスが動かれる「空間」と「時間」の経過を意識するようにしてください。イエスの姿に奥行きが出てきます。

<講話の前半部は次の様でした>

私は司祭になってみて、信徒は皆、何かを待っていることが分かりました。世界を円くする人を待っています。皆が、イエスに接しています。私達は漠然と一緒にいるのではありません。私達がイエス・キリストと生きていることを引き続き知っています。

日本人には謙虚すぎて、失うものがあります。「やったこと自体が、大したことがない。」と言います。「私は至らぬもので」との態度は不要なことです。自信を減らすのも卑怯です。そうではなく、イエスキリストを知ったという恵みを感謝したい。○キリスト者であることの幸い：「あなた方の目は見えているから幸いだ。あなたがたの耳は聞いているから幸いだ。はっきり言っておく。多くの預言者や正しい人たちは、あなた方が見ているものを見たかったが見ることができなかった。(マタイ 13章)」・・・イザヤ、エレミヤは、偉い人だが、キリストを知らなかった。一方、私達は幸い、イエスを見ることができたので。我々の受けた恵みは、人となられたイエスキリストを深めてゆくことができたこと。

○他の宗教でも、教えを受けた誰にでも与えられるのではない。仏教者も己の幸いを言う(三帰依文)。この様な恵みは、他の宗教でも、「感謝すべきこと」とされている。

○仏教者も己の幸いを言う(三帰依文)・・・「人身受け難し、今、すぐに受く。仏法聞き難し、今、すでに聞く。この身、今生に向かって度せずんば、更に、何れの生に向かってか、この身を度せん。」仏教では、輪廻転生の中、仏の教えを聞き入れることができるのは人間だけ。しか、人間としての生を受けても、仏の教えを受けなければ、意味はない。(人間に生まれ、仏の教えを受けられることは、感謝すべきである。)

「既に見た方」を待っている待降節。そして降誕祭における叙唱は次のとおり「人となられた、みことばの神秘によって、私達の心の目に、あなたの光が注がれ、見えるものになられた、神を認めることによって、見えないものの愛に強く引かれます。」(これが今日のテーマです)

神の言葉を聴くこと=これは聞き従うこと。いや、それはいいから、見えるものとなられたこの神を見る。私を見なさい。来住神父はこう薦められました。

<講話の後半部>

この後、イエスが登場した箇所を、福音書の各所において挙げられ、説明されました。ガリラヤ湖畔で弟子を招かれたこと他、シモンの姑を救った奇跡(イエスは手を取って起こされた)の箇所、重い皮膚病を患った人に手をさしのべて、その人に触れ「清くなれ」と言ったこと。ファリサイ派の律法学者に非難されたレビ人との食事など。信徒の皆さん、是非、毎週の福音書の箇所で、それを見つけ、感じて下さい。(広報 三谷)



クリスマスリース点灯朗読

樽角たつきちゃんが、待降節の間の4週間、クリスマスリースにろうそくを灯すにあたっての解説を務めてくれました。



水巻カトリック教会レプトン会 会員の皆様

東京の空から今日、白い雪が舞い降りてきました。

寒い日が続いておりますが、皆さまお元気でお過ごしでしょうか。

私は南米で生活しております。あちらの夏休みを利用して先日、日本に戻ってきましたが、あまりの気温の差に体が戸惑っています。

今日、皆さまからの暖かい献金 36 万円が届けられていることを日本のカリタス会管区本部からお知らせいただきました。いつも変わらぬ惜しみない援助に、感謝でいっぱいです。本当にありがとうございました。

皆様方のお心に應えて微力ながら私たちにできる小さな愛の活動を続けていきたいと念じています。私はただ今、アルゼンチンに住んでおりますが、南米の貧しい地域の情勢はどこも似ており、貧富の差が激しく、小さくされた人々は片隅に追いやられています。

でも、私たちは、貧しい人々に寄り添いながら、そこにキリストのいつくしみの手がいっつも共にあることを感じて生活しています。皆様方の愛の業を通して、小さな者にいっつも優しい眼差しを注がれる父の愛を感じ取っております。

聖母の取り次ぎによって、皆さまの上に恵みと平安がいっつも豊かにありますよう、心を込めてお祈りさせていただきます。 感謝のうちに!! 2017年1月14日

カリタス会 リマの聖母ローザ隼管区 管区長 シスター カタリナ松永



★ベルトラン神父 追悼ミサ★

日 時：2月5日(日)午後3時～

場 所：水巻カトリック教会

マヘル神父とベリオン神父、二人の司式
で行われます。

★特別寄付★

梅ノ木地区の深堀様、海老津地区の平野章
浩様よりご寄付をいただきました。ありが
とございました。

人-ひと

【帰天】安らかに！

12月18日

◇深堀 巖さん(梅ノ木地区)

1月20日

◇岡部 茂博さん(海老津地区)

★巡礼旅行★

5月3日～5日に行われる巡礼旅行の
申し込み締め切りが2月26日です。

1月8日

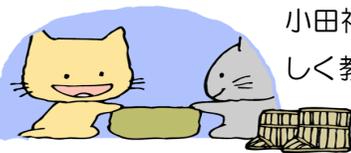
出席者 山田 蓮さん

- ・新年のあいさつ・冬休みをどう過ごしたかを、みんなで話し合いました。
- ・マタイによる福音書 2章1節～12節を音読しました。
- ・主の祈りを唱えました。

1月15日

出席者 山田 蓮さん

- ・ヨハネによる福音 1章29節～34節を音読しました。
- ・蓮さんより、聖書中に書かれている『2人のヨハネ』について質問があり、小田神
学生が、洗礼者ヨハネと弟子のヨハネについて、説明してくださいました。

小田神学生との最後の教会学校でした。いつも、笑顔で優
しく教会学校をサポートしてくださり、本当にありが
とございました。

水巻聖母幼稚園から2月のお知らせ

☆「みんななかよく」 日時：2月2日(木)10時30分～ 『豆まき』

「鬼はそと～！ 福はうち～！ 皆で豆をまきましよう～！！」

いつも水巻聖母幼稚園へのお祈り・ご協力ありがとうございます。

ぜひ皆様 ご来園ください。職員一同お待ちしております！

園長 Sr.松川明子 職員一同